

1・2年次設置の科目紹介

必履修科目	履修をしないと卒業できない科目
選択必履修科目	必履修科目のうち、学べる科目が選べるもの
学校必選択科目	該当の年次に必ず選択する科目
再履修科目	年次指定の必履修科目が未履修となった場合の科目
自由選択科目	自身の希望に合わせて学べる科目

※科目によっては「履修条件」が存在するものもあります。条件に達していない場合は、履修登録をすることができません。

<例>

- ・3年次以上でないと履修することができない。
- ・「物理基礎」を履修済みでないと、「物理」を履修することができない。

このようなことも考慮して、1年次にどの科目を選択するかを検討する必要があります。

※「共通教科」の各教科と「学校設定教科」の各教科は大学進学等で提出する書類において、別々に各教科の評価平均を算出します。ただし、全体の評定平均はすべての科目を合算して算出します。

共通教科 国語		科目	現代の国語	種類	必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	新編 現代の国語（大修館書店） デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）		
受講対象	・1年次に全員がクラスごとに履修する。						
学習内容	前期 ①ことばをひらく ②日本語を使いこなす ③わかりやすく説明する ④聞く力を育む ⑤論理を読み取る			後期 ⑥伝え合いのレッスン ⑦説得力を高める ⑧情報と向き合う ⑨他者を動かす ⑩社会に目を向けて			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。			
			思考・判断・ 表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることができるようになる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が養われている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「国語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「言語文化」「国語研究2」「国語研究3」						

共通教科 国語		科目	現代の国語(再)	種類	必履修	単位数	2
履修条件	2年次以上			教科書 教材等	新編 現代の国語（大修館書店） デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）		
受講対象	・「現代の国語」未履修者						
学習内容	前期 ①ことばをひらく ②日本語を使いこなす ③わかりやすく説明する ④聞く力を育む ⑤論理を読み取る			後期 ⑥伝え合いのレッスン ⑦説得力を高める ⑧情報と向き合う ⑨他者を動かす ⑩社会に目を向けて			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。			
			思考・判断・ 表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることができるようになる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が養われている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「国語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「国語研究2」「国語研究3」						

共通教科 国語		科目	言語文化	種類	必修修	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修（「現代の国語」の再履修者も同時履修可能）			教科書教材等	新編 言語文化（大修館書店） デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）		
受講対象	・2年次以上で選択必修修する。						
学習内容	前期 ・ことばと出会う ・表現を味わう ・文化を見つめる ・古文に親しむ ・随筆を楽しむ ・漢文に親しむ ・現代に生きることば			後期 ・物語を受け継ぐ ・ことばと生きる ・近代文学に触れる ・物語の広がり ・旅への思い ・古人に学ぶ ・漢文を楽しむ			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、文化的背景の理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。			
			思考・判断・表現	作品や文章に表れるものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の仕方や特色について評価している。			
			主体的に学習に取り組む態度	日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。			
お薦め講座・備考	・必修科目なので、卒業までに必ず履修することが条件です。そのため、なるべく2年次での履修をお薦めします。 ・2年次に「評論基礎2」「国語研究2」を選択する場合は、学習効果を高めるためにこの「言語文化」も2年次に履修することをお薦めします。						

専門教科 国語		科目	国語プラス	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし			教科書教材等	ICT教材 スタディサプリ デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）		
受講対象	・義務教育課程の内容を学び直したい生徒 ・大学進学に向けた対策を行いたい生徒						
学習内容	前期 小4から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めます。「○○の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。授業の最後に学んだ内容を発表して共有します。			後期 小4から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めます。「○○の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。授業の最後に学んだ内容を発表して共有します。			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み（特に視聴計画に対する達成度を重要視します） ③提出物 ④発表 ⑤確認テスト・チェックテスト・単元テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。			
			思考・判断・表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることができるようになる。			
			主体的に学習に取り組む態度	自身の学習状況を客観的に判断し、学び直しや受験対策など、一人一人異なる課題を解決しようとしている。			
お薦め講座・備考	・本授業は「ICT教材：スタディサプリ」を利用した授業となります。 ・右図のように、映像授業を視聴しながら学習をすすめます。 ・担当の教職員は机間指導をしているので、疑問点がある場合はいつでも質問することができます。						



専門教科 国語		科目	評論基礎 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	国語表現（大修館書店）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）、実用 資料読解問題集（明治書院）		
受講対象	・ 上級学校の受験で国語が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒						
学習内容	前期 ・ 言葉と出会う ・ 伝える、伝え合う ・ 会話・議論・発表 ・ 表現を楽しむ ・ 問題集での資料読解演習			後期 ・ メディアを駆使する ・ 自己PRと面接 ・ 小論文・レポート入門 ・ 表現を楽しむ ・ 問題集での資料読解演習			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が適切に身につけている。		
				思考・判断・ 表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることが的確にできるようになる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度が養われている。		
お薦め 講座・ 備考	・ 「評論基礎」科目の受講を選択する順序は、「評論基礎 2」の後に「評論基礎 3」が望ましく、学習効果が高まります。 ・ 上級学校の受験で国語が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒は3年次以上で「評論基礎 3」を受講してください。						

専門教科 国語		科目	国語研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	新 文学国語（三省堂）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）		
受講対象	・ 国語ゼミへの参加を希望している生徒						
学習内容	前期 ・ 発想と感覚 ・ 人間の姿と心 ・ 意味と解釈 ・ 読みの深まり ・ 作品の挑戦 ・ 近代の創造			後期 ・ 史実と虚構 ・ 作品の変貌 ・ 文学の普遍性② ・ 想像と創造 ・ 文学の普遍性① ・ 文学の普遍性③			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。		
				思考・判断・ 表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度が養われている。		
お薦め 講座・ 備考	・ 「国語研究」科目の受講を選択する順序は、「国語研究 2」の後に「国語研究 3」が望ましく、学習効果が高まります。 ・ 「国語ゼミ」に参加を希望する場合は、「国語研究 2」「国語研究 3」を受講することが望ましく、上級学校の受験科目で古典（古文・漢文）が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒は3年次以上で「国語研究 3」まで受講してください。						

共通教科 地理歴史		科目	地理総合	種類	必修修	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	高等学校新地理総合（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）		
受講対象	・卒業までのいずれかの年次で必ず履修する。						
学習内容	前期 ①世界の諸地域を学ぶ ②地球的に広がる課題			後期 ③地図の活用と統計資料の分析 ④日本の自然環境と防災			
評価・ 評定の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物	観 点 別 の 評 価	知識・技能	地理的情報を収集・活用・分析することができる。			
			思考・判断・ 表現	地図や統計資料もとに、説明することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	グループワークやペアワークに、周囲と協力して取り組むことができる。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理探究」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に地理分野を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「地理探究」「地理研究3」 						

共通教科 地理歴史		科目	地理探究	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	地理総合を履修済み			教科書 教材等	地理探究（二宮書店） 新編フォトグラフィア地理図説（東京法令出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・大学受験等で「地理総合」よりも深く専門的な地理の内容が必要となる生徒 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に地理分野の希望者は必須 						
学習内容	前期 ①世界の大地形と小地形 ②大気の大循環とケッペンの気候区分 ③世界の農業と工業			後期 ④日本の自然環境と国内産業 ⑤世界の地誌 (アジア・アフリカ・ヨーロッパ・オセアニア ・アングロアメリカ・ラテンアメリカ等)			
評価・ 評定の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物	観 点 別 の 評 価	知識・技能	地理的情報を収集・活用・分析することができる。			
			思考・判断・ 表現	地図や統計資料もとに、説明することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	グループワークやペアワークに、周囲と協力して取り組むことができる。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に地理分野を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「地理研究3」 						

共通教科 地理歴史		科目	歴史総合	種類	必修	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	歴史総合（実教出版）		
受講対象	卒業までのいずれかの年次で必ず履修する。						
学習内容	前期 ・18世紀～19世紀前半における、世界とそのなかの日本について学習する。			後期 ・19世紀後半～20世紀における、世界とそのなかの日本について学習する。			
評価・ 評定の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物	観 点 別 の 評 価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。			
			思考・判断・ 表現	歴史を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ、適切に表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本史探究」「世界史探究」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に歴史分野を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 日本の歴史を深く学びたい場合⇒「日本史探究」「日本史研究3」 世界の歴史を深く学びたい場合⇒「世界史探究」「世界史研究3」 						

共通教科 地理歴史		科目	日本史探究	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	歴史総合を履修済み			教科書 教材等	詳説日本史（山川出版社） 歴史資料館 日本史のライブラリー（東京法令出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・大学受験等で「歴史総合」よりも深く専門的な日本史の内容が必要となる生徒 ・「地歴・公民ゼミ（日本史専攻）」の参加希望者は必須 						
学習内容	前期 ①旧石器時代～縄文時代 ②弥生時代～古墳時代 ③大和政権と飛鳥朝廷 ④大化の改新～奈良時代 ⑤平安遷都～平安中期			後期 ⑥平安後期～源平争乱 ⑦鎌倉時代～室町時代 ⑧戦国時代～織豊政権 ⑨江戸時代前期～中期 ⑩江戸時代後期～幕末期			
評価・ 評定の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物	観 点 別 の 評 価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。			
			思考・判断・ 表現	歴史を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ、適切に表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・「地歴・公民ゼミ（日本史専攻）」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「日本史研究3」 						

共通教科 地理歴史		科目	世界史探究	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	歴史総合を履修済み			教科書 教材等	新詳世界史探究（帝国書院） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史について、学びを深めたい者。 人文系の大学進学を考えている者。 大学受験で世界史探究の活用を考えている者。 						
学習内容	前期 人類の始まりから18世紀までの世界の歴史について学習する。 ・諸地域の歴史的特質の形成 ・諸地域の交流・再編			後期 18世紀後半から21世紀までの世界の歴史について学習する。 ・諸地域の統合・変容 ・地球世界の課題			
評価・ 評定の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③課題（ワークシート、レポート等）	観 点 別 の 評 価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。			
			思考・判断・表現	歴史を多面的・多角的に考察し、広い視野に立って諸地域を理解し、表現できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> ・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・「地歴・公民ゼミ」 →地歴・公民ゼミでの活動では、基本的な歴史の流れや歴史的な思考力を生かすことができるため。 ・公民研究（特に、人文・社会科学系の大学への進学を考えている者） →世界史探究と公民研究の内容は密接に結びついており、両者を学ぶことにより互いの講座の学習理解が高まるため。 						

共通教科 公民		科目	公共	種類	必修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	公共（東京法令出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に全員がクラスごとに履修する。 						
学習内容	前期 第1章 公共の扉 第2章 現代社会の諸課題（法～政治）			後期 第2章 現代社会の諸課題（経済） 第3章 持続可能な社会へ			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。			
			思考・判断・表現	多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れ、議論する力を身に付けている。			
			主体的に学習に取り組む態度	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に公民分野の学習を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「公民研究2」「公民研究3」 						

共通教科 公民		科目	公共(再)	種類	必修	単位数	2
履修条件	2年次以上			教科書 教材等	公共（東京法令出版）		
受講対象	・「公共」未履修者						
学習内容	前期 第1章 公共の扉 第2章 現代社会の諸課題（法～政治）			後期 第2章 現代社会の諸課題（経済） 第3章 持続可能な社会へ			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。			
			思考・判断・ 表現	多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れ、議論する力を身に付けている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に公民分野の学習を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「公民研究2」「公民研究3」						

専門教科 公民		科目	公民研究2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	フォーラム公共（東京法令出版）		
受講対象	・現代社会の諸課題について、公民科的な見方・考え方で探究を深めたい者。 ・人文科学および社会科学系の大学進学を考えている者。 ・大学受験で公民科（「公共」「倫理」「政治・経済」）の活用を考えている者。						
学習内容	前期 現代社会における倫理的諸課題について学ぶ。 ・現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 ・現代の諸課題と倫理			後期 現代社会における政治・経済的諸課題について学ぶ。 ・現代日本における政治・経済の諸課題 ・グローバル化する国際社会の諸課題			
評価・ 評定の 方法	①定期考査 ②授業への取り組み ③課題（ワークシート、レポート等）	観 点 別 の 評 価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。			
			思考・判断・ 表現	現代社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、広い視野に立って諸課題の解決策を提示できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「地歴・公民ゼミ」 →本講座で扱う「公民科的な見方・考え方」は、地歴・公民ゼミで大いに活用できると考えられる。 ・世界史探究 →公民研究と世界史探究の内容は密接に結びついており、両者を学ぶことにより互いの講座の学習理解が高まるため。						

共通教科 数学		科目	数学Ⅰ	種類	必修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	新編数学Ⅰ（実教出版） ラウンドノート数学Ⅰ（実教出版）		
受講対象	・1年次に全員がクラスごとに履修する。						
学習内容	前期 ①数と式 ②集合と論理 ③2次関数			後期 ④2次関数 ⑤図形と計量 ⑥データの分析			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
			思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」「数学研究3」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」（「数学C」） ・看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」 						

共通教科 数学		科目	数学Ⅰ（再）	種類	必修	単位数	2
履修条件	2年次以上			教科書 教材等	新編数学Ⅰ（実教出版） ラウンドノート数学Ⅰ（実教出版）		
受講対象	・「数学Ⅰ」未履修者						
学習内容	前期 ①数と式 ②集合と論理 ③2次関数			後期 ④2次関数 ⑤図形と計量 ⑥データの分析			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
			思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」「数学研究3」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」（「数学C」） ・看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」 						

共通教科 数学		科目	数学Ⅱ	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	数学Ⅰを履修済み			教科書 教材等	新編数学Ⅱ（実教出版） ラウンドノート数学Ⅱ（実教出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒 ・数学ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 ①いろいろな式 ②図形と方程式 ③指数関数・対数関数			後期 ④指数関数・対数関数 ⑤三角関数 ⑥微分・積分の考え			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
			思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学A」「数学B」「数学Ⅲ」「数学C」「数学研究3」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学Ⅲ」「数学B」「数学C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学B」（「数学C」） ・看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」 						

共通教科 数学		科目	数学A	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	新編数学A（実教出版） ラウンドノート数学A（実教出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒 ・数学ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 ①場合の数と確率 ②図形の性質			後期 ③図形の性質 ④数学と人間の活動（整数の性質）			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
			思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学B」「数学C」「数学研究3」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学B」「数学C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学B」（「数学C」） 						

共通教科 数学		科目	数学B	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	新編数学B（実教出版） ラウンドノート数学B（実教出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒 ・数学ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 ①数列 ②確率分布と統計的な推測			後期 ③確率分布と統計的な推測 ④数学と社会生活			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
			思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学C」「数学研究3」 ・理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学C」 ・薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学A」「数学Ⅱ」（「数学C」） ・看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」 						

専門教科 数学		科目	数学プラス	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	ICT教材 スタディサプリ		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育課程の内容を学び直したい生徒 ・大学進学に向けた対策を行いたい生徒 						
学習内容	前期 小4から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。			後期 小4から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み 視聴計画に対する達成度を重要視します。 ③提出物 ④確認テスト／チェック テスト／単元テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。			
			思考・判断・ 表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	自身の学習状況を客観的に判断し、学び直しや受験対策など、一人一人異なる課題を解決しようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は「ICT教材：スタディサプリ」を利用した授業となります。 ・右図のように、映像授業を視聴しながら学習をすすめます。 ・担当の教職員は机間指導をしているので、疑問点がある場合はいつでも質問することができます。 						



共通教科 理科		科目	科学と人間生活	種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	高等学校 科学と人間生活（第一学習社）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次において、本講座か「化学基礎」のいずれかを全員が選択する。 ・理科を教養的に学びたい生徒、実験を通じて楽しく学びたい生徒 						
学習内容	前期 物理分野・化学分野・生物分野・地学分野の各分野に関する講義とその基礎実験 例：熱気球の作成、浮沈子の作成 弦楽器の作成、電子回路の作成 ろうそくの作成など			後期 物理分野・化学分野・生物分野・地学分野の各分野に関する講義とその基礎実験 例：アンモナイト化石のレプリカ作成 ダンゴムシの動きの観察 花の観察など			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	観察、実験などを通して自然現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	様々な現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。実験の手順を理解し、他者に伝達することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<理科の卒業要件> ①「科学と人間生活」を履修した場合 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のいずれか1科目を次年度以降に履修する。 ②「科学と人間生活」を履修しなかった場合 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から3科目を履修する。 ・「科学と人間生活」と「他の理科学科科目」を同一年度に履修することはできない。 ・「他の理科学科科目」履修後に「科学と人間生活」を履修することはできない。						

共通教科 理科		科目	科学と人間生活（再）	種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	2年次以上 「他の理科学科科目」を履修していない			教科書 教材等	高等学校 科学と人間生活（第一学習社）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で「科学と人間生活」か「化学基礎」未履修になった生徒 ・理科を教養的に学びたい生徒、実験を通じて楽しく学びたい生徒 						
学習内容	前期 物理分野・化学分野・生物分野・地学分野の各分野に関する講義とその基礎実験 例：熱気球の作成、浮沈子の作成 弦楽器の作成、電子回路の作成 ろうそくの作成など			後期 物理分野・化学分野・生物分野・地学分野の各分野に関する講義とその基礎実験 例：アンモナイト化石のレプリカ作成 ダンゴムシの動きの観察 花の観察など			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	観察、実験などを通して自然現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	様々な現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。実験の手順を理解し、他者に伝達することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<理科の卒業要件> ①「科学と人間生活」を履修した場合 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のいずれか1科目を次年度以降に履修する。 ②「科学と人間生活」を履修しなかった場合 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から3科目を履修する。 ・「科学と人間生活」と「他の理科学科科目」を同一年度に履修することはできない。 ・「他の理科学科科目」履修後に「科学と人間生活」を履修することはできない。						

共通教科 理科		科目	物理基礎	種類	選択必修	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	新編物理基礎（東京書籍）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> 理工系の大学や専門学校に進学を希望している生徒 数学ゼミ、物理ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 物体の運動とエネルギー ①直線運動の世界 ②力と運動の法則 ③力学的エネルギー			後期 様々な物理現象とエネルギー ①熱 ②波 ③電気 ④エネルギーとその利用			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	観察、実験などを通して物理現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	物理現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	物理現象の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> 「物理」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 理工系の大学進学を考える場合や「物理ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「化学基礎」「物理」「物理研究3」 ※理科の卒業要件については「科学と人間生活」の項目を参照すること。 						

共通教科 理科		科目	物理	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	物理基礎を履修済み			教科書 教材等	物理（東京書籍）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> 理工系の大学進学を希望している生徒 数学ゼミ、物理ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 <ul style="list-style-type: none"> 平面内の運動 剛体のつりあい 運動量 円運動 単振動 万有引力 気体分子の運動 波の式 定在波 音波 ドップラー効果 境界が存在する定在波 			後期 <ul style="list-style-type: none"> 光の干渉 電界と電位 コンデンサー コンデンサーを含む直流回路 非線形抵抗 電流と磁場 電磁誘導 コイルを含む直流回路 交流回路 			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	観察、実験などを通して物理現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	物理現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	物理現象の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> 4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 理工系の大学進学を考える場合や「物理ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「物理研究3」 数学の知識が必須です。「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学B」「数学C」の受講もお薦めします。 						

共通教科 理科		科目	化学基礎	種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	新編化学基礎（東京書籍）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次において、本講座か「科学と人間生活」のいずれかを全員が選択する。 ・理学系の大学や医療系専門学校に進学を希望している生徒 ・化学／生物ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 物質の構成 ①物質の成分と構成元素 ②物質の三態 ③原子の構造 ④化学結合			後期 物質の変化 ①物質と化学反応式 ②酸と塩基 ③酸化還元反応			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	物質とその変化についての基礎・基本を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。		
				思考・判断・ 表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「化学」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・理学系の大学や医療系の大学及び専門学校の進学を考える場合、「化学／生物ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「生物基礎」「化学」「化学研究3」 ※理科の卒業要件については「科学と人間生活」の項目を参照すること。 						

共通教科 理科		科目	化学	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	化学基礎を履修済み			教科書 教材等	化学vol.1 理論編、vol.2 物質編（東京書籍）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・理学系の大学や医療系専門学校に進学を希望している生徒 ・化学／生物ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 ・物質の状態 ・気体の性質 ・溶液の性質 ・固体の構造 ・化学反応と熱・光 ・電池と電気分解 ・化学反応の速さ ・化学平衡 ・水溶液中の化学平衡			後期 ・周期表と元素 ・非金属元素 ・典型金属元素 ・遷移元素 ・金属イオンの分離と確認 ・有機化合物 ・炭化水素 ・アルコール ・芳香族化合物 ・高分子化合物 ・天然高分子化合物 ・合成高分子化合物			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	物質とその変化についての基礎・基本を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。		
				思考・判断・ 表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・理学系の大学や医療系の大学及び専門学校の進学を考える場合、「化学／生物ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「化学研究3」 						

共通教科 理科		科目	生物基礎	種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	新編生物基礎（東京書籍）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・理学系の大学や医療系専門学校に進学を希望している生徒 ・化学/生物ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 生物の特徴・遺伝子の働き ①生物の多様性と共通性 ②生物とエネルギー ③遺伝情報とDNA ④遺伝情報とタンパク質の合成			後期 ヒトの体の調整・生物の多様性と共通性 ①ヒトの体を調整する仕組み ②免疫のはたらき ③植生と遷移 ④生態系と生物の多様性			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり科学的に探究し、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与ようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「生物」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・理学系の大学や医療系の大学及び専門学校の進学を考える場合、「化学/生物ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「化学基礎」「生物」「生物研究3」 ※理科の卒業要件については「科学と人間生活」の項目を参照すること。 						

共通教科 理科		科目	生物	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	生物基礎を履修済み			教科書 教材等	生物（実教出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・理工学系の大学や医療・看護系専門学校に進学を希望している生徒 ・化学/生物ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 1章 生物の進化 2章 生命現象と物質 3章 遺伝情報の発現			後期 3章 発生と遺伝子発現 4章 生物の環境応答 5章 生態と環境			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり科学的に探究し、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与ようとしている。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・理工学系の大学や医療・看護系の大学及び専門学校への進学を考える場合、「化学/生物ゼミ」に参加を希望する場合は、「生物」と合わせて以下の講座を受講することが望ましい。 「化学基礎」「化学」「生物研究3」 						

共通教科 理科		科目	地学基礎	種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	地学基礎（東京書籍）		
受講対象	・理学系の大学や専門学校に進学を希望している生徒						
学習内容	前期 ・大地とその動き ・火山活動と地震 ・地球の熱収支 ・大気と海水の運動 ・宇宙の構造と進化			後期 ・地層と化石の観察 ・古生物の変遷と地球環境 ・日本の自然の恵みと防災 ・地球環境の考え方 ・自然環境の変動 ・これからの地球環境			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	地球や地球を取り巻く環境について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり科学的に探究し、自然環境の保全に寄与ようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 ※理科の卒業要件については「科学と人間生活」の項目を参照すること。						

共通教科 保健体育		科目	体育A	種類	必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	・1年次に全員がクラスごとに履修する。						
学習内容	前期 ①体づくり運動 ②陸上競技			後期 ③球技 ④体育理論			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点	観 点 別 の 評 価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・体育は7単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育A」～「体育E」の講座を組み合わせることによって7単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）+体育C（2）、3年次：体育D（2）＝7単位 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）、3年次：体育D（2）、4年次：体育E（2）＝7単位 ・「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究2」「スポーツ研究3」						

共通教科 保健体育		科目	体育 B	種類	必修	単位数	1
履修条件	2 年次指定科目			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	・ 2 年次に全員がクラスごとに履修する。						
学習内容	前期 ①体づくり運動 ②ダンス ③武道			後期 ④体育理論 ⑤ダンス ⑥武道			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点	観点別 の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育は7単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育A」～「体育E」の講座を組み合わせることで7単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）+体育C（2）、3年次：体育D（2）=7単位 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）、3年次：体育D（2）、4年次：体育E（2）=7単位 ・ 「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究2」「スポーツ研究3」 						

共通教科 保健体育		科目	体育 C	種類	選択必修	単位数	2
履修条件	2 年次以上で履修可能			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	・ 卒業までに体育の修得単位数が7単位以上になるよう、「体育C」～「体育E」を組み合わせ受講すること。						
学習内容	前期 ①球技 ②器械運動 ③体育理論			後期 ④球技 ⑤器械運動 ⑥体育理論			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点	観点別 の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育は7単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育A」～「体育E」の講座を組み合わせることで7単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）+体育C（2）、3年次：体育D（2）=7単位 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）、3年次：体育D（2）、4年次：体育E（2）=7単位 ・ 「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究2」「スポーツ研究3」 						

共通教科 保健体育		科目	保健 A	種類	必修	単位数	1
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	・1年次に全員がクラスごとに履修する。						
学習内容	前期 ①現代社会と健康			後期 ①現代社会と健康 ②安全な社会生活			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査	観点別 の評価	知識・技能	現代社会と健康について理解しているとともに、疾病の予防や手当などが適切にできる。			
			思考・判断・ 表現	安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、表現することができている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	学習したことを活かし、自分の生活習慣や健康状態を改善したり、レジリエンスを高めようとする態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「保健」は2単位を履修しないと卒業することができません。本講座「保健A（1単位）」と2年次「保健B（1単位）」の講座を両方履修することで2単位となります。						

共通教科 保健体育		科目	保健 A（再）	種類	必修	単位数	1
履修条件	2年次以上			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	・「保健A」未履修者						
学習内容	前期 ①現代社会と健康			後期 ①現代社会と健康 ②安全な社会生活			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査	観点別 の評価	知識・技能	現代社会と健康について理解しているとともに、疾病の予防や手当などが適切にできる。			
			思考・判断・ 表現	安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、表現することができている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	学習したことを活かし、自分の生活習慣や健康状態を改善したり、レジリエンスを高めようとする態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「保健」は2単位を履修しないと卒業することができません。本講座「保健A（1単位）」と2年次「保健B（1単位）」の講座を両方履修することで2単位となります。						

共通教科 保健体育		科目	保健 B	種類	必修	単位数	1
履修条件	2年次指定科目			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	・2年次に全員がクラスごとに履修する。						
学習内容	前期 ①生涯を通じる健康			後期 ②健康を支える環境づくり			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査	観点別 の評価	知識・技能	現代社会と健康について理解しているとともに、疾病の予防や手当などが適切にできる。			
			思考・判断・ 表現	安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、表現することができている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	学習したことを活かし、自分の生活習慣や健康状態を改善したり、レジリエンスを高めようとする態度が身に付いている。			
お薦め 講座・ 備考	・「保健」は2単位を履修しないと卒業することができません。本講座「保健A（1単位）」と2年次「保健B（1単位）」の講座を両方履修することで2単位となります。						

専門教科 体育		科目	ダンス入門	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	なし		
受講対象	・ダンスを通じて身体を動かしたい生徒						
学習内容	前期 ①ダンスの基礎知識 ②現代的なリズムのダンス			後期 ③創作遊び ④創作ダンス			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点	観点別 の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	表現活動を通して、自らの在り方ややり方を創意工夫し、チャレンジする態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・特記事項はありません。						

専門教科 体育		科目	スポーツ研究2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	・進学等で保健体育の専門的な知識の習得が必要となる生徒。 ・「体育ゼミ」の参加希望者は履修するのが望ましい。						
学習内容	前期 種目選択制 生徒主導型学習 レポート作成			後期 種目選択制 生徒主導型学習 レポート作成			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③技能点 ④提出物	観点別 の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・特記事項はありません。						

共通教科 芸術		科目	音楽Ⅰ	種類	選択必修	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	MOUSAⅠ（教育芸術社）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次において、本講座か「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」のいずれかを全員が選択する。 ・音楽ゼミに参加を希望する生徒 						
学習内容	前期 ①歌唱 ②器楽 ③音楽理論 ④ソルフェージュ ⑤鑑賞			後期 ⑥歌唱 ⑦器楽 ⑧音楽理論 ⑨ソルフェージュ ⑩鑑賞			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	曲想や音楽の多様性について理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむために、感性を高め、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究2」「音楽研究3」 ・音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や音楽に興味関心がある生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽基礎2」「音楽基礎3」 						

専門教科 音楽		科目	音楽基礎2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	なし		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽Ⅰを履修済みであることが望ましい 						
学習内容	前期 ①歌唱 ②器楽(ギター・ピアノ) ③鑑賞 ④音楽理論			後期 ①歌唱 ②器楽(ギター・ピアノ) ③鑑賞 ④創作・アンサンブル			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	自分なりの考えをもって音楽表現を創意工夫し、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができる。楽器の特徴や曲想に合わせた表現をすることができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、多様な音楽文化に親しみ積極的に取り組むことができる。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究2」 						

専門教科 音楽		科目	音楽研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	なし		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽ゼミ選択者で、音楽系の進学（特に音大）を希望する生徒 ・音符や楽譜が読めることが望ましい 						
学習内容	前期 ①音楽理論(楽譜の仕組み・音程) ②ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ③音楽史 ④歌唱・器楽			後期 ①音楽理論(音階・調・和音) ②ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ③音楽史 ④歌唱・器楽			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③実技テスト、小テスト	観点別 の評価	知識・技能	視唱及び聴音に関する知識や技能を身に付けている。基礎的な理論について理解し、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	音楽を形づくっている要素の働きやその効果、様式を踏まえた演奏に関する思考力・判断力・表現力等が身につけている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を主体的に積極的に取り組んでいる。音楽理論を音楽表現や鑑賞に生かそうとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。「音楽基礎 2」 						

共通教科 芸術		科目	美術 I	種類	選択必修	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	高校生の美術 I（日本文教出版） 教材費 4,000円程度		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次において、本講座か「音楽 I」「工芸 I」のいずれかを全員が選択する。 ・美術・工芸ゼミに参加を希望する生徒 						
学習内容	前期 ①描画基礎 ②水彩デッサン ③マークデザイン			後期 ④彫刻 ⑤点描画 ⑥塑造			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出	観点別 の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・ 表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術・工芸ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。「平面研究 2」「平面研究 3」または「立体研究 2」「立体研究 3」 ・美術を進路先で必要とする生徒や美術に興味関心が高い生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。「美術基礎 2」「美術基礎 3」 						

専門教科 美術		科目	美術基礎 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	教材費 5,000円程度		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術Ⅰ」または「工芸Ⅰ」を履修・修得していることが望ましい。 ・美術・工芸ゼミ選択者で、美術系の進学（特に美大）を希望し、受験対策としてデッサン力を身に付ける必要がある生徒 						
学習内容	前期 ①美術概論 ②石膏デッサン ③色彩基礎、平面構成			後期 ④人物クロッキー ⑤透視図法 ⑥風景デッサン			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出	観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・ 表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な画材の扱い方や技法を学びたい生徒は、「平面研究2」または「工芸研究2」も合わせて受講してください。 ・美術を進路先で必要とする生徒や美術への興味関心が高い生徒は、「美術基礎3」を受講することが望ましい。 						

専門教科 美術		科目	平面研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	高校生の美術Ⅰ（高校生の美術Ⅰ） 教材費 15,000円程度		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術Ⅰ」を履修・修得していることが望ましい。 ・美術・デザイン分野の進路を希望する者。美術・工芸ゼミ選択者。 						
学習内容	前期 ①スケッチ ②コラージュ ③デッサン			後期 ④版画 ⑤油絵			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出	観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・ 表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術・工芸ゼミ」を希望する生徒、美術を進路先で必要とする生徒、美術に興味関心が高い生徒は以下の講座を受講することが望ましい。 「美術基礎2」、「平面研究2（本講座）」 						

専門教科 美術		科目	立体研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	教材費 5,000円程度 実習服 5,000円程度		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術Ⅰ」または「工芸Ⅰ」を履修・修得していることが望ましい。 ・美術・工芸ゼミを選択している人が対象です。様々な素材に触れながら立体制作をしていきます。 ・美術や立体デザインや環境デザイン、工芸系進学者向け講座です。 ・上級学校進学のためのデッサンやスケッチをおこないます。 						
学習内容	前期 ①様々な素材による立体の基礎造形 ②立体製品の鉛筆による描写			後期 ①インスタレーションや公共空間にある造形物について学ぶ ②立体造形制作 ③静物デッサン			
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。		
				思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、立体物の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識を持ち、見方や感じ方を深めたりすることができる。		
				主体的に学習に取り組む態度	主体的に立体表現の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり身近な立体表現に対して興味関心を育むとともに、感性を高め、伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。		
お薦め講座・備考							

共通教科 芸術		科目	工芸Ⅰ	種類	選択必修	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	工芸Ⅰ（日本文教出版） 教材費 5,000円程度		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次において、本講座か「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」のいずれかを全員が選択する。 ・美術・工芸ゼミに参加を希望する生徒 						
学習内容	前期 ①工芸 ②ペーパークラフト ③木材工芸 ④編んで作る工芸			後期 ④金属工芸 ⑤プロダクトデザイン			
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出		観 点 別 の 評 価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。		
				思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。		
				主体的に学習に取り組む態度	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術・工芸ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「工芸研究2」「工芸研究3」 						

専門教科 工芸		科目	工芸研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	教材費 5,000円程度 実習服 5,000円程度		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・美術 I または工芸 I を履修修得していることが望ましい。 ・美術・工芸ゼミ受講生は必ず選択してください。工芸について学び、様々な素材で物を作ります。 ・集中して静かにモノを作ることができる生徒に向けています。日本全国のモノづくりについても調べ研究します。 						
学習内容	前期 ①編んで作るクラフト ②木工制作 ③ペーパークラフト ④作家研究			後期 ②木工制作 ③プロダクトデザイン制作 ④日本の工芸品についての研究（レポート）			
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題提出	観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術・工芸ゼミ」を希望する生徒、美術を進路先で必要とする生徒、美術に興味関心が高い生徒は以下の講座を受講することが望ましい。 「美術基礎 2」、「工芸研究 2（本講座）」 						


共通教科 外国語		科目	英語コミュニケーション I	種類	必修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	Amity English Communication I（開隆堂） Amity English Communication I ワークブック（開隆堂）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に全員が必ず履修する。 						
学習内容	前期 ①The Beautiful Scenery ②My Best Friend ③Love for Dance ④Endangered Species ⑤The History of Chocolate			後期 ⑥Our School ⑦Serendipity ⑧Sapeurs ⑨Special Makeup Effects ⑩Clean Water			
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観点別の評価	知識・技能	外国語の基本的事項について理解を深め、読む・聞く・話す・書くの4技能を活用できる。			
			思考・判断・表現	外国語で情報や意図などを理解することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	CYODやBYODを駆使し、主体的に発話活動に取り組む姿勢がある。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「英語研究 3」 「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 ・四年制大学の進学を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 						

共通教科 外国語		科目	英語コミュニケーションⅠ(再)	種類	必修	単位数	2
履修条件	2年次以上			教科書 教材等	Amity English Communication I (開隆堂) Amity English Communication I ワークブック(開隆堂)		
受講対象	・「英語コミュニケーションⅠ」未履修者						
学習内容	前期 ①The Beautiful Scenery ②My Best Friend ③Love for Dance ④Endangered Species ⑤The History of Chocolate			後期 ⑥Our School ⑦Serendipity ⑧Sapeurs ⑨Special Makeup Effects ⑩Clean Water			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	外国語の基本的事項について理解を深め、読む・聞く・話す・書くの4技能を活用できる。			
			思考・判断・ 表現	外国語で情報や意図などを理解することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	CYODやBYODを駆使し、主体的に発話活動に取り組む姿勢がある。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「英語研究Ⅲ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 ・四年制大学の進学を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 						

共通教科 外国語		科目	英語コミュニケーションⅡ	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	英語コミュニケーションⅠを履修済み			教科書 教材等	Amity English CommunicationⅡ (開隆堂) Amity English CommunicationⅡ ワークブック(開隆堂)		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を考えている生徒 ・英語ゼミへの参加を希望している生徒 ・英語でのコミュニケーションに興味がある生徒 						
学習内容	前期 ・英語でのやり取り ・英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語を学びます。 ・英語を聞いて、答えるトレーニング			後期 ・英語でのやり取り ・英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語を学びます。 ・英語を聞いて、答えるトレーニング ・英語検定に向けての学習			
評価・ 評定の 方法	・授業内での活動 ・提出物 ・各課題での表現 ・テストでの授業理解度	観 点 別 の 評 価	知識・技能	・英語の文法、単語を理解している			
			思考・判断・ 表現	・英語でのやり取りができる。 ・英語を読んだり聞いたりして、適切に対応できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	・学んだ知識を活用して、自身のことを表現しようとしている。 ・英語の学習に意欲的に取り組んでいる。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・4単位の授業なので、週に2回(1回2時間)あるので注意すること。 ・英語検定の勉強も自分で継続して取り組むことが望ましい。特に、大学進学を推薦入試での受験を希望する場合。 ・大学進学を、一般受験(筆記試験で)希望する場合は、次の講座を受講することが望ましい。 『論理・表現Ⅰ及びⅡ』、(次年度に『英語コミュニケーションⅢ』) 						

共通教科 外国語		科目	論理・表現Ⅰ	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	MY WAY(三省堂) MY WAY English Logic and Expression I WORKBOOK(三省堂)		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を考えている生徒 ・英語ゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 ①L 1 Part 1 Let's Talk about Ourselves ②L 2 Part 1 School Life ③L 3 Part 1 The Arts ④L 4 Part 1 Food and Culture ⑤L 5 Part 1 Welcome to Our Town			後期 ⑥L 6 Part 1 Traveling Abroad ⑦L 7 Part 1 Sports ⑧L 8 Part 1 Everyday Technology ⑨L 9 Part 1 Take Care ⑩L 10 Part 1 SDGs — Take Action!			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	日常の身近な話題について、聞く・話すの2技能を活用できる。			
			思考・判断・ 表現	外国語で情報や考え方、話し手や書き手の意図などを的確に理解する。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「英語研究3」「論理・表現Ⅱ」 ・四年制大学の進学を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅱ」 						

共通教科 外国語		科目	論理・表現Ⅱ	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	論理・表現Ⅰを履修済み			教科書 教材等	MY WAY II (三省堂) MY WAY English Logic and Expression II WORKBOOK(三省堂)		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学を考えている生徒 ・英語ゼミへの参加を希望している生徒 ・英語でのコミュニケーションに興味がある生徒 						
学習内容	前期 <ul style="list-style-type: none"> ・英語で書くこと、話すことを中心に必要な文法力、表現力を養う。 ・論理・表現Ⅰの内容を復習し、発展させる。 			後期 <ul style="list-style-type: none"> ・英語で書くこと、話すことを中心に必要な文法力、表現力を養う。 ・大学進学を意識した学習活動を行う。 			
評価・ 評定の 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内での活動 ・提出物 ・各課題での表現 ・テストでの授業理解度 	観 点 別 の 評 価	知識・技能	・英語の文法、単語を理解している			
			思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でのやり取りができる。 ・英語を読んだり聞いたりして、適切に対応できる。 			
			主体的に 学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ知識を活用して、自身のことを表現しようとしている。 ・英語の学習に意欲的に取り組んでいる。 			
お薦め 講座・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定の勉強も自分で継続して取り組むことが望ましい。特に、大学進学を推薦入試での受験を希望する場合。 ・大学進学を、一般受験(筆記試験で)希望する場合は、次の講座を受講することが望ましい。 『英語コミュニケーションⅡ』 						

専門教科 英語		科目	英語プラス	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	ICT教材 スタディサプリ		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育課程の内容を学び直したい生徒 ・大学進学に向けた対策を行いたい生徒 						
学習内容	前期 基礎的な内容から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。			後期 基礎的な内容からから大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み 視聴計画に対する達成 度を重要視します。 ③提出物 ④確認テスト/チェックテ スト/単元テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	外国語の基本的事項について理解を深め、読む・聞く・話す・書くの4技能を活用できる。			
			思考・判断・ 表現	外国語で情報や意図などを理解することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	自身の学習状況を客観的に判断し、学び直しや受験対策など、一人一人異なる課題を解決しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は「ICT教材：スタディサプリ」を利用した授業となります。 ・右図のように、映像授業を視聴しながら各個人ごとに学習をすすめます。 ・担当の教職員は机間指導をしているので、疑問点がある場合はいつでも質問することができます。 						

共通教科 家庭		科目	家庭基礎	種類	必修	単位数	2
履修条件	なし（2年次までに履修）			教科書 教材等	未来へつなぐ 家庭基礎 365（教育図書） 教材費3,000円程度		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次または2年次のいずれかで全員が必ず履修する。 						
学習内容	前期 ①生活設計 ②家族 ③保育・高齢期・共生社会と福祉 ④衣生活 ⑤ホームプロジェクト			後期 ⑥持続可能な社会 ⑦消費・経済 ⑧食生活 ⑨住生活 ⑩ホームプロジェクト			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述するなど、生涯を見通して課題を解決する。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活ゼミ」に参加を希望する場合は、志望系統に応じて以下の講座を受講することが望ましい。 【食物系】「食物研究2」「食物研究3」「生物基礎」「化学基礎」「生物または化学」 【被服系】「被服研究2」「被服研究3」「オリジナル服製作入門」 【保育福祉系】「保育福祉研究2」「保育福祉研究3」「音楽I」「音楽基礎2・3（保育系）」 【家庭経営】「SDGs入門」「売り手と買い手」 						

専門教科 家庭		科目	被服研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	作品として材料代がかかります。教材費として納入または各自で購入・持参する。		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、大学または短大の家政学部（被服分野専攻）、服飾系の専門学校等に進学を目指す生徒 ➡ デザイナー・パターンナー ・生活ゼミに所属して被服について学びを深めたい生徒 						
学習内容	前期 ①服飾の変遷と文化 ②被服の構成 ③被服材料 ④被服製作			後期 ④被服製作 ⑤総合実習			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、衣生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活の充実・向上を図ろうとする。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活ゼミ」【被服系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。「被服研究 2（本講座）」「被服研究 3」 						

専門教科 家庭		科目	保育福祉研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	実習等で交通費や保険料等がかかる場合があります。		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、大学または短大の家政学部（保育福祉分野専攻）、保育福祉系の専門学校等に進学を目指す生徒 ➡ 保育士・介護福祉士・社会福祉士等 ・生活ゼミに所属して保育福祉について学びを深めたい生徒 						
学習内容	前期 ①子どもの保育・発達 ②高齢者の自立生活支援と介護 ③子どもの生活と養護 ④高齢者・子どもの福祉制度			後期 ⑤子どもの文化・表現活動 ⑥保育体験・介護体験 ⑦製作			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、職業人として地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実・向上を図ろうとする。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活ゼミ」【保育福祉系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。「保育福祉研究 2（本講座）」「保育福祉研究 3」「音楽 I」「音楽基礎 2・3（保育系）」 						

専門教科 家庭		科目	食物研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	調理実習費（材料費）を徴収します 年間の実施回数・内容によって異なりますが、年間10,000円程度かかります		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、大学または短大の家政学部（食物・栄養分野専攻）、食物・栄養系の専門学校に進学を目指す生徒 ▶管理栄養士・栄養士・調理師 ・生活ゼミに所属して調理や栄養について学びを深めたい生徒 						
学習内容	前期 ①健康と食生活 ②栄養と調理 ③食文化・テーブルコーディネート ④調理の基礎 ⑤調理実習			後期 ⑤調理実習 ⑥献立作成 ⑦総合実習			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取組 ③課題・提出物・作品 ④定期考査・小テスト		観 点 別 の 評 価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、食生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		
				思考・判断・ 表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、職業人として地域社会に参画しようとするとともに、食生活の充実・向上を図ろうとする。		
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活ゼミ」【食物系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「食物研究2（本講座）」「食物研究3」「生物基礎」「化学基礎」「生物または化学」 						

共通教科 情報		科目	情報 I	種類	必修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	新編情報 I（東京書籍）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に全員がクラスごとに履修する。 						
学習内容	前期 ①情報社会の問題解決 ②コミュニケーションと情報デザイン			後期 ③コンピュータとプログラミング ④情報通信ネットワークとデータ活用			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④小テスト・課題 ⑤定期考査		観 点 別 の 評 価	知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用についての知識・技術を身に付けている。		
				思考・判断・ 表現	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に取捨選択して活用し、相手に伝えることができる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するとともに、情報社会に主体的に参画しようとしている。		
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報II」「情報研究2」「情報研究3」 						

共通教科 情報		科目	情報Ⅰ（再）	種類	必修	単位数	2
履修 条件	2年次以上			教科書 教材等	新編情報Ⅰ（東京書籍）		
受講 対象	・「情報Ⅰ」未履修者						
学習 内容	前期 ①情報社会の問題解決 ②コミュニケーションと情報デザイン			後期 ③コンピュータとプログラミング ④情報通信ネットワークとデータ活用			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④小テスト・課題 ⑤定期考査	観 点 別 の 評 価	知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用についての知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に取捨選択して活用し、相手に伝えることができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するとともに、情報社会に主体的に参画しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報Ⅱ」「情報研究2」「情報研究3」						

共通教科 情報		科目	情報Ⅱ	種類	自由選択	単位数	2
履修 条件	情報Ⅰを履修済み			教科書 教材等	情報Ⅱ（東京書籍）		
受講 対象	・情報/情報技術に興味のある生徒 ・「情報ゼミ」を希望する生徒						
学習 内容	前期 ①情報社会の進展と情報技術 ②コミュニケーションとコンテンツ			後期 ③情報とデータサイエンス ④情報システムとプログラミング			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④小テスト・課題 ⑤定期考査	観 点 別 の 評 価	知識・技能	多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め、技能を習得することができる。			
			思考・判断・ 表現	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切に活用することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報Ⅱ（本講座）」「情報研究2」「情報研究3」						

専門教科 情報		科目	情報研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」を履修済み、もしくは「情報Ⅱ」と同時履修であることが望ましい ・情報/情報技術に興味のある生徒 ・「情報ゼミ」を希望する生徒 						
学習内容	前期 情報技術を活用した問題解決①			後期 情報技術を活用した問題解決②			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④小テスト・課題	観点別 の評価	知識・技能	情報システム・情報コンテンツについて理解を深めるとともに、効果的に活用するための技能を習得することができる。			
			思考・判断・ 表現	問題を発見・分析し、解決に向けて情報と情報技術を効果的に活用することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、粘り強く主体的に問題解決に取り組むことができる。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報Ⅱ」「情報研究2（本講座）」「情報研究3」 						

専門教科 商業		科目	ビジネスベーシック	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	ビジネス基礎（実教出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・商学部・経営学部・経済学部の大学や専門学校に進学を希望している生徒 ・卒業後就職を希望している生徒 ・ビジネスゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 ①ビジネスの心構え ②企業の形態、業種・業態とは ③原価・定価・売価と利益について ④簿記の基本			後期 ⑤マーケティングの重要性 ⑥販売戦略と効果的な販売方法 ⑦広告の重要性 ⑧模擬取引から取引の流れを学ぶ			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④授業内で行うテスト ⑤定期考査	観点別 の評価	知識・技能	ビジネスに関する実践的な学習を通じて、ビジネスの場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」 「マネジメント研究2」「マネジメント研究3」 						

専門教科 商業		科目	マーケティング研究2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	マーケティング（実教出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・商学部・経営学部・経済学部の大学や専門学校に進学を希望している生徒 ・卒業後就職を希望している生徒 ・ビジネスゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 ①マーケティングとは ②マーケティングの流れ ③消費者行動 ④市場調査			後期 ⑤製品政策 ⑥価格政策 ⑦事例研究			
評価・ 評定の 方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト ⑤ 定期考査	観 点 別 の 評 価	知識・技能	マーケティングに関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「ビジネスベーシック」 「マーケティング研究3」 「マネジメント研究2」「マネジメント研究3」 						

専門教科 商業		科目	マネジメント研究2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	ビジネス・マネジメント（実教出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・商学部・経営学部・経済学部の大学や専門学校に進学を希望している生徒 ・卒業後就職を希望している生徒、起業をしたい生徒 ・ビジネスゼミへの参加を希望している生徒 						
学習内容	前期 ①ビジネスとマネジメント ②組織のマネジメント ③経営資源のマネジメント			後期 ④簿記・会計の基本 ⑤経営分析 ⑥事例研究			
評価・ 評定の 方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト ⑤ 定期考査	観 点 別 の 評 価	知識・技能	経営に関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「ビジネスベーシック」 「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」 「マネジメント研究3」 						

専門教科 総合		科目	産業社会と人間	種類	学校必選択	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）			教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講対象	・1年次にクラスごとに全員が履修する。						
学習内容	前期 ①学ぶ意義の理解 ②職業レディネステスト、適性理解 ③グループ発表練習 ④学問研究 ⑤本物体験事前学習			後期 ⑥本物体験の成果発表 ⑦ゼミ体験（模擬ゼミナール） ⑧将来設計（履修登録・将来像の構築） ⑨未来の社会（現代社会の課題、SDGs） ⑩学習成果発表会準備			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況	観 点 別 の 評 価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	将来の職業生活に必要なコミュニケーション能力を養い、在学中の科目選択や進路計画を立てる力を身に付けようとしている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・フューチャーデザイン（未来設計）を構成する科目のひとつです。 本講座と連動する形で、 2年次「フューチャーデザイン2」「人間と社会」「ゼミナール2」、 3年次「フューチャーデザイン3」「ゼミナール3」、 4年次「ゼミナール4」 を履修し、各自の自己実現を図ります。						

専門教科 総合		科目	ゼミナール2	種類	学校必選択	単位数	1
履修条件	2年次指定科目			教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講対象	・2年次に各自で選択したゼミごとに全員が履修する。						
学習内容	前期 （プレ課題研究） ①テーマ理解の練習 ②情報や意見の共有 ③芽吹発表準備			後期 （課題研究準備） ④テーマ設定 ⑤リサーチクエスチョンの設定 ⑥研究計画書の作成			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況	観 点 別 の 評 価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	将来に必要なコミュニケーション能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・フューチャーデザイン（未来設計）を構成する科目のひとつです。 本講座と連動する形で、 2年次「フューチャーデザイン2」「人間と社会」、 3年次「フューチャーデザイン3」「ゼミナール3」、 4年次「ゼミナール4」 を履修し、各自の自己実現を図ります。						

専門教科 総合		科目	日本の伝統文化	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	本校作成テキスト 教材費 10,000円程度		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ TPOに応じたマナーを身に付けたい生徒 ・ 他者を思いやる気持ちや協調性を身に付けたい生徒 ・ 日本の伝統や文化を学びたい生徒 						
学習内容	前期 ①伝統工芸を学ぶ・体験する ②落語を学ぶ・体験する ③能・狂言を学ぶ・体験する ④体験についてのまとめ・発表など			後期 ⑤歌舞伎を鑑賞する ⑥華道を学ぶ・体験する ⑦茶道を学ぶ・体験する ⑧学んだ成果のまとめ・発表など			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況	観 点 別 の 評 価	知識・技能	日本の伝統と文化の体験を通じて日本の歴史文化を学び、得た知識・技術をまとめ整理することができる。			
			思考・判断・ 表現	得た知識・技術をまとめ整理し、他者が理解できるように内容を精査し伝え表現することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	日本の伝統と文化について探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・特記事項はありません。						

専門教科 総合		科目	演劇入門	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	本校作成テキスト 教材費 3,000円程度		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者を思いやる気持ちや協調性を身に付けたい生徒 ・ 自己の気持ちを表現する方法やコミュニケーションの取り方等を学びたい生徒 						
学習内容	前期 ①体で表現する ②詩や物語の朗読、対話文 ③演劇鑑賞 ④既成台本の読み通し			後期 ⑤キャストの決定と稽古 ⑥舞台稽古・舞台設営・小道具衣装作成 ⑦本番・事後振り返りと年間まとめ			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み・集中度 ③課題の提出状況 ④発表	観 点 別 の 評 価	知識・技能	「表現をする活動」を通じて自己の気持ちを表現する方法やコミュニケーションの取り方等を学ぶ。			
			思考・判断・ 表現	得た知識・技術をまとめ整理し、他者が理解できるように内容を精査し伝え表現することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	表現方法について探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・講師の先生によって学習内容が変わる場合があります。						

専門教科 総合		科目	映像研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	教材費 3,000円程度 各自の制作に必要な材料は用意してください。		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> 映像について学び、動画作成や編集作業に興味のある生徒 パソコンを使用して映像表現することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒 絵をかいたり、創造したりすることに興味がある生徒 						
学習内容	前期 ①映像表現の基本を学ぶ ・使用する機材・コンピュータソフトの使用方法について ・デザインとムービー制作について			後期 ②動画制作 ・映像の歴史について ・コマーシャル (CM) 制作			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	映像表現に関する学習を通じて、自ら主体的に制作に取り組み、動画編集ができる知識・技術を身に付けている。		
				思考・判断・ 表現	動画を効果的に表現する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立てて実行することができる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	動画を効果的に活用する方法を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。		
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> 映像で伝える表現について学びます。絵コンテを描きながら想像して考え、動きや音を加えながら映像を制作します。完成したら発表してお互いに作品鑑賞をします。 「写真入門」や「映像研究3」を受講して、さらに研究を深めましょう。 						

専門教科 総合		科目	デザイン研究 2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	教材費 3,000円程度 各自の制作に必要な材料は用意してください。		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> グラフィックデザインについて興味のある生徒 パソコンを使用してデザインを考え制作することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒 絵を描くことや写真を撮影し表現することに興味がある生徒 						
学習内容	前期 ①グラフィックデザインについて学ぶ。 ・グラフィックデザイン制作に必要なパソコンの機能と使用方法 ・タイプフェイスとロゴタイプやシンボルマーク ・編集デザインとレイアウト			後期 ②写真とその画像処理について学ぶ。 ・写真家や写真表現の研究と学びについて ・写真集等の制作			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況		観 点 別 の 評 価	知識・技能	グラフィックデザインに関する学習を通じて、自ら主体的に制作に取り組み、パソコンを使用して制作ができる知識・技術を身に付けている。		
				思考・判断・ 表現	グラフィックデザインを効果的に表現する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立てて実行することができる。		
				主体的に 学習に 取り組む態度	グラフィックデザインを効果的に活用する方法を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。		
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> 社会の中でのグラフィックデザインの役割を学び、デザイン制作を行います。また写真での表現と編集デザインについて学びます。パソコンを使用しての制作が中心です。 「写真入門」を受講すると写真撮影とその表現について学ぶことができます。 「デザイン研究3」で、さらに研究を深めましょう。 						

専門教科 総合		科目	ドローン入門	種類	自由選択	単位数	1
履修条件	なし			教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンに興味のある生徒 ・動画作成や編集に興味のある生徒 						
学習内容	前期 ①ドローンの操作方法 ②ドローンに関する知識（法律を中心に） ③簡単な動画編集			後期 <注意> 本講座は前期に2時間連続の授業で実施するため、後期の授業はありません。年度末の成績会議による承認をもつての単位認定となります。年度途中での単位認定はございません。			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況 ④小テスト	観 点 別 の 評 価	知識・技能	ドローンに関する学習を通じて、法令に則り自ら主体的に操作し、動画編集ができる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	ドローンや撮影した動画を効果的に活用する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立て実行することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	ドローンや撮影した動画を効果的に活用する方法を探究して、生涯にわたって学習し学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・動画作成や編集に興味のある生徒は、以下の講座をお薦めします。 「映像配信入門」「映像研究2」「映像研究3」 						

専門教科 総合		科目	映像配信入門	種類	自由選択	単位数	1
履修条件	なし			教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・動画作成・編集に興味のある生徒 ・効果的に動画作成・配信をし、プレゼンテーション力を高めたい生徒 						
学習内容	前期 本講座は後期に2時間連続の授業で実施するため、前期の授業はありません。			後期 ①映像配信に関する知識（法律を中心に） ②簡単な動画編集 ③映像配信の方法を学ぶ			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況	観 点 別 の 評 価	知識・技能	映像配信に関する学習を通じて、法令に則り自ら主体的に取り組み、動画編集・配信ができる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	動画を効果的に活用・配信する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立て実行することができる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	動画を効果的に活用する方法を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・動画作成や編集に興味のある生徒は、以下の講座をお薦めします。 「ドローン入門」「映像研究2」「映像研究3」 						

専門教科 総合		科目	売り手と買い手	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能			教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講対象	・ビジネスゼミや生活ゼミへの参加を希望している生徒						
学習内容	前期 ①売り手(生産者)と買い手(消費者)とは ②消費生活の役割 ③消費者被害と消費者の権利・責任 ④消費生活の安全と自由			後期 ⑤生産者と法(PL法を中心に) ⑥消費者契約と法 ⑦事例研究			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④授業内で行うテスト ⑤定期考査	観 点 別 の 評 価	知識・技能	ものごとを売り手側(生産者)と買い手側(消費者)の視点から学び、得た知識・技術をまとめ整理することができる。			
			思考・判断・ 表現	売り手側・買い手側それぞれからの当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを見逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・情報・ビジネス系列の科目や生活ゼミの科目を履修することをお勧めします。						

専門教科 総合		科目	SDGs入門	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし			教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講対象	・SDGsに興味のある生徒 ・世界情勢や外国や日本の文化を探究したい生徒						
学習内容	前期 ①SDGsの考え方、歴史的背景 ②SDGsを知る ③17の目標と169のターゲットについて			後期 ④17の目標と169のターゲットについて ⑤世界におけるSDGsと達成状況 ⑥日本におけるSDGs ⑦演習と成果発表			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況	観 点 別 の 評 価	知識・技能	SDGsに関する学習を通じて、17の目標と169のターゲットについて理解し、世界情勢や日本の状況を理解する力を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	SDGsの考え方、歴史的背景、世界情勢や日本の状況等、学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・現代が抱える「社会的課題」が何であるかを深く知ることができます。この「社会的課題」の解決に向けた調査研究を行うのが「ゼミナール」の授業です。課題研究の内容を探る際のヒントとなる講座でもあります。						

人間と社会		科目	人間と社会	種類	学校必選択	単位数	1
履修条件	2年次指定科目			教科書 教材等	「人間と社会」教科書 本校作成テキスト		
受講対象	・2年次に各自で選択したゼミごとに全員が履修する。						
学習内容	前期 ①自己理解、他者理解 ②学ぶこと・働くことの意義 ③体験学習			後期 ④地域社会を築く ⑤社会と人生を見つめる ⑥これからの生き方 ⑦体験学習			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況	観 点 別 の 評 価	知識・技能	周りの人との関わりを通して探究の方法を身に付ける 他、様々な課題に対して知識を活用して考える力が身に付いている。			
			思考・判断・ 表現	自分の意思で課題を見出し、情報を集めて考えたり話し合ったりして探究を進め、自分なりの答えを導き出そうとしている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	自分自身の生き方を充実させようとする態度や、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・フューチャーデザインング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 本講座と連動する形で、 2年次「フューチャーデザインング2」「ゼミナール2」、 3年次「フューチャーデザインング3」「ゼミナール3」、 4年次「ゼミナール4」 を履修し、各自の自己実現を図ります。						

総合的な探究の時間		科目	フューチャーデザインング2	種類	必修	単位数	1
履修条件	2年次指定科目			教科書 教材等	本校作成テキスト		
受講対象	・2年次にクラスごとに全員が履修する。						
学習内容	前期 （プレ課題研究） ①情報の集め方 ②問いの整理 ③テーマ設定の練習 ④芽吹祭発表準備			後期 （課題研究準備） ⑤将来設計（履修登録・将来像の構築） ⑥修学旅行事前・事後学習 ⑦進路ガイダンス			
評価・ 評定の 方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③課題の提出状況	観 点 別 の 評 価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・ 表現	将来に必要なコミュニケーション能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。			
			主体的に 学習に 取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め 講座 ・ 備考	・フューチャーデザインング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 本講座と連動する形で、 2年次「ゼミナール2」「人間と社会」、 3年次「フューチャーデザインング3」「ゼミナール3」、 4年次「ゼミナール4」 を履修し、各自の自己実現を図ります。						

3年次以降設置の科目紹介

必履修科目	履修をしないと卒業できない科目
選択必履修科目	必履修科目のうち、学べる科目が選べるもの
学校必選択科目	該当の年次に必ず選択する科目
再履修科目	年次指定の必履修科目が未履修となった場合の科目
自由選択科目	自身の希望に合わせて学べる科目

※科目によっては「履修条件」が存在するものもあります。条件に達していない場合は、履修登録をすることができません。

<例>

- ・3年次以上でないと履修することができない。
- ・「物理基礎」を履修済みでないと、「物理」を履修することができない。

このようなことも考慮して、1年次にどの科目を選択するかを検討する必要があります。

※「共通教科」の各教科と「学校設定教科」の各教科は大学進学等で提出する書類において、別々に各教科の評価平均を算出します。ただし、全体の評価平均はすべての科目を合算して算出します。

＜国語＞

教科	国語	科目	評論基礎 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	評論基礎 2 に引き続き、論理的な言語活用能力を高めます。大学進学を検討している人は受講しましょう。			
教科	国語	科目	国語研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	国語研究 2 に引き続き、設定した課題を研究します。国語ゼミ生や受験科目で古典が必要な人、人文科学系の大学進学希望者は受講しましょう。			

＜地理歴史＞

教科	地理歴史	科目	地理研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	地理探究に引き続き、設定した課題を研究します。地歴（地理）ゼミ生は受講をしましょう。			
教科	地理歴史	科目	日本史研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	日本史探究に引き続き、設定した課題を研究します。地歴（日本史）ゼミ生は受講をしましょう。			
教科	地理歴史	科目	世界史研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	世界史探究に引き続き、設定した課題を研究します。地歴（世界史）ゼミ生は受講をしましょう。			

＜公民＞

教科	公民	科目	公民研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	公民研究 2 に引き続き、設定した課題を研究します。公民ゼミ生は受講をしましょう。			

< 数学 >

教科	数学	科目	数学Ⅲ	種類	自由選択	単位数	4	
履修条件	数学Ⅱを履修済み			講座紹介	極限、微分・積分を扱います。理工系大学進学を希望している人はぜひ受講を。			
教科	数学	科目	数学C	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	ベクトル、複素数平面、平面上の曲線を主に扱います。理工系大学進学を希望している人はぜひ受講を。			
教科	数学	科目	数学研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	これまでの数学の学習に引き続き、設定した課題を研究します。数学ゼミ生は受講をしましょう。			

< 理科 >

教科	理科	科目	物理研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	「物理」で扱うことができなかった原子物理の学習、及び設定した課題の研究をします。物理ゼミ生は受講をしましょう。			
教科	理科	科目	化学研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	これまでの化学の学習に引き続き、設定した課題を研究します。化学ゼミ生は受講をしましょう。			
教科	理科	科目	生物研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で受講可能			講座紹介	これまでの生物の学習に引き続き、設定した課題を研究します。生物ゼミ生は受講をしましょう。			

＜保健体育＞

教科	保健体育	科目	体育D	種類	選択必履修	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	球技、ダンス、武道などを行います。			
教科	保健体育	科目	体育E	種類	選択必履修	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	球技、ダンス、武道などを行います。			
教科	保健体育	科目	スポーツ研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	スポーツ研究2に引き続き、体づくりについて設定した課題を研究します。体育ゼミ生は受講をしましょう。			

＜芸術：音楽＞

教科	芸術	科目	音楽基礎3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	音楽基礎2に引き続き、音楽の基礎を学び、表現します。			
教科	芸術	科目	音楽研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	音楽研究2に引き続き、設定した課題を研究し、表現します。音楽ゼミ生は受講をしましょう。			
教科	芸術	科目	軽音楽入門	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	軽音楽の基礎、楽器の演奏方法について学びます。			
教科	芸術	科目	DTM入門	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	パソコンを利用して楽曲制作をおこなう音楽制作手法の総称で、DTM（デスクトップミュージック）について学びます。			

＜芸術：美術＞

教科	芸術	科目	美術基礎 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	美術基礎 2 に引き続き、受験対策を前提として素描の基礎などを学び、制作します。			
教科	芸術	科目	平面研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	平面研究 2 に引き続き、設定した課題を研究し、作品を制作します。美術・工芸ゼミ生は平面・立体・工芸研究のいずれかを受講しましょう。			
教科	芸術	科目	立体研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	立体研究 2 に引き続き、設定した課題を研究し、作品を制作します。美術・工芸ゼミ生は平面・立体・工芸研究のいずれかを受講しましょう。			
教科	芸術	科目	写真入門	種類	自由選択	単位数	1	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	写真撮影の方法や写真加工の方法を学びます。			
教科	芸術	科目	イラスト入門	種類	自由選択	単位数	1	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	イラストの描き方や特徴をつかむ方法などを学びます。			

＜芸術：工芸＞

教科	芸術	科目	工芸研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	工芸研究 2 に引き続き、設定した課題を研究し、作品を制作します。美術・工芸ゼミ生は平面・立体・工芸研究のいずれかを受講しましょう。			
教科	芸術	科目	ジュエリー制作入門	種類	自由選択	単位数	1	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	装身具（リング）やアクセサリなどを制作します。金属工芸中心です。			
教科	芸術	科目	陶芸入門	種類	自由選択	単位数	1	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	ミニチュアクラフト等の模型や、陶芸について学び、創造性を働かせて作品を作ります。			

< 外国語 >

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	種類	自由選択	単位数	4	
履修条件	英語コミュニケーションⅡを履修済み			講座紹介	情報や考え、気持ちを論理的に詳しく話したり書いたり伝える・伝え合うを行います。			
教科	外国語	科目	英語研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	これまで学習した英語に引き続き、設定した課題を研究します。英語ゼミ生は受講をしましょう。			

< 家庭 >

教科	家庭	科目	被服研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	被服研究 2 に引き続き、設定した課題を研究するとともに、創造的な作品を制作します。生活ゼミ生は受講をしましょう。			
教科	家庭	科目	保育福祉研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	保育福祉研究 2 に引き続き、設定した課題を研究し、実践します。生活ゼミ生は受講をしましょう。			
教科	家庭	科目	食物研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	食物研究 2 に引き続き、日常食から供応食まで、季節・美しさ・栄養・地域性など設定した課題を研究し、実践します。生活ゼミ生は受講をしましょう。			
教科	家庭	科目	オリジナル服製作入門	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	簡単なパターンを活用してオリジナルの服を製作します。お気に入りの素材や布地を選んで世界に1枚しかない服を作りましょう。			

< 情報 >

教科	情報	科目	情報研究 3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	情報研究 2 に引き続き、設定した課題を研究します。情報ゼミ生は受講をしましょう。			

＜商業＞

教科	商業	科目	マーケティング研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	マーケティング研究2に引き続き、設定した課題を研究します。ビジネスゼミ生は受講をしましょう。			
教科	商業	科目	マネジメント研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	マネジメント研究2に引き続き、設定した課題を研究します。ビジネスゼミ生は受講をしましょう。			
教科	商業	科目	実務簿記入門	種類	自由選択	単位数	1	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	簿記（帳簿の記録方法）を学び、簿記検定合格を目指します。青色申告入門とセットで受講をお勧めします。			
教科	商業	科目	青色申告入門	種類	自由選択	単位数	1	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	税金の計算方法、税金の納め方など、税に関する学びをします。実務簿記入門とセットで受講をお勧めします。			

＜総合＞

教科	総合	科目	映像研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	映像研究2に引き続き、設定した課題を研究し、作品制作をします。			
教科	総合	科目	デザイン研究3	種類	自由選択	単位数	2	
履修条件	3年次以上で履修可能			講座紹介	デザイン研究2に引き続き、設定した課題を研究し、デザインします。			
教科	総合	科目	ゼミナール3	種類	学校必選択	単位数	2	
履修条件	なし（3年次指定科目）			講座紹介	課題研究を行います。			
教科	総合	科目	ゼミナール4	種類	学校必選択	単位数	2	
履修条件	なし（4年次指定科目）			講座紹介	課題研究を基に、企画提案を行います。			

＜総合的な探究の時間＞

教科	総合	科目	フューチャーデザイン3	種類	必修	単位数	1	
履修条件	なし（3年次指定科目）			講座紹介	自分の進路実現に向けて具体的に学びを深めていきます。チューターとして1年次生の助言や支援も務めます。			
教科	総合	科目	フューチャーデザイン4	種類	必修	単位数	1	
履修条件	なし（4年次指定科目）			講座紹介	自分の進路実現に向けてより具体的に学びを深め、進路活動にも活かします。チューターとして1年次生の助言や支援も務めます。			